



# 快挙！スコピオンズ 能代科学技術高校破り 県体初制覇の偉業達成



# 秋田西高新聞

## 発行所

秋田県潟上市天王  
字 追分 西 26-1  
秋田県立秋田西高等学校  
広報出版委員会  
☎ 018-873-5251  
印刷 (株)八郎 湯印刷  
☎018-875-4005

## 校章の由来

校章は、中心に校名の「西」をすえ、外側に県のシンボルである「鶴」を配し、緑の新鮮さを表わすとともに、教育方針（豊かな心、調和の姿、創造の道）を表わしている。また、三本の「ペン」は知性、品性、体力に優れた健康で調和ある生徒の成長、発展を願ったものである。

「能代工業」……。その名を知らない者はいないだろう。あの「スラムダンク」で強豪校「山王工業」のモデルにもなった、言わずと知れた高校男子バスケットボール界のレジェンド、現・能代科学技術高校である。去る7月4日(日)、タクミアリーナ(大館市樹海体育館)で行われた県民体育大会バスケットボール競技(少年の部)決勝戦において、我々が「スコピオンズ」秋田西高校男子バスケットボール部が、なんとその能代科学技術高校を74対67で打ち破るといふ大金星を挙げた。そして、創部以来初となる、県体優勝という偉業を見事に成し遂げた。

そこで今回、我々取材班は、顧問・監督である江島尚先生と阿部貴良君(3D)にインタビューを受けていただいた。

Q 県民体育大会初優勝おめでとうございます。現在の心境をお聞かせください。  
江島先生 本当に嬉しいですね。優勝できたのは、今までの西高として受け継がれてきた伝統(思い)が力となつてのことだと感じています。地域の皆様、学校関係者、OB会、保護者などたくさんの方々からの応援に心から感謝しています。この経験を新たな出発点として、日々の練習に取り組み、「世界一成長するチーム」になるため努力を重ねていきたいです。

阿部君 優勝したときは、嬉しすぎて勝った感じがしなかつたんですけど、表彰式で「第1位」と言われたときに「あ、勝ったんだ」と思ってたんですけど、思ってたよりも良かったです。能代科学技術高校とは、どのような存在ですか？  
江島先生 日本のバスケット界を長年に渡って牽引してきたチームです。「必勝不敗」というスローガンを掲げ、全国優勝58回と圧倒的な戦績を誇る名門校であり、秋田県の高校生にとっては目標である存在です。

阿部君 初めは秋田県高校バスケの絶対王者というような感じはありました。自分たちよりもはるかに上手い先輩たちでも勝てなかつた能代科学技術高校に正直恐怖を感じていました。ですが、今回こうやって倒すことができ、「どんなに強いチームでも、ちゃんとしたバスケをすることで勝てる」ということを証明できたと思います。

Q 指導法を教えてください。  
江島先生 自分たちで考えて頑張ってもらうことです。教えるというよりも手助けをするのを第一に指導してきました。

Q 試合までの練習で心がけたことは何ですか？  
阿部君 点数を取りにくいことと、ディフェンスが苦手なので、今まで以上にディフェンスの練習を頑張ることを心がけました。人によって攻撃の仕方が違うので、相手の癖についてビデオなどを見て確認することで対策しました。

Q 試合中の手応えはどうでしたか？  
江島先生 練習していた成果を発揮できて良い試合になったなと感じています。

阿部君 最初から西高が強いと感じていました。前半終了時には10点以上の差をつけました。相手がしたいバスケをさせず、いい流れを掴むことができました。

Q 勝利の決め手となったのはどのようなことですか？  
江島先生 全県総体の決勝のオンラインによる全校応援で勇気をもたらしたことが一番だと思います。仲間からの声援に支えられての勝利と確信しています。また、選手が一人ひとり考えて行動できるようにしたこと、大きな勝因になったと感じています。

阿部君 激しいディフェンスから速い展開で攻めるといふバスケをしつかりできたことだと思います。する必要のないミスなどは多々ありましたが、その分、ディフェンスで返していたので、そのあたりが決め手だと思います。

Q 今後の目標や抱負をお聞かせください。  
江島先生 ウインターカップ予選でも、自分たちの力を発揮できるように、「考える習慣」を大切にしながら頑張っていきたいです。

阿部君 能代科学技術高校は、次は本気で倒しに来ると思うので、その勢いに負けないように全力で力強くプレーしてもう一度勝つて、ウインターカップの舞台に立てるようにがんばります。

Q 後輩部員の皆さんに伝えたいことをどうぞ。  
阿部君 一つは、とにかく努力してほしいです。自分の苦手なところを克服したり、得意なところを伸ばしたりするための自主練習を頑張ってください。



白熱の決勝戦

## 西雲

▼日本には「縁」と書いて「えにし」と呼ぶ言葉がある。「縁」とはめぐりあわせや人と人との関わり合いなどつながりを意味する。神社などでは「ご縁」と「五円」をかけて祈られるほど古くから大切にされている。縁結びにご利益のある神社もあり、島根県の出雲大社や福岡県の竈門神社、身近な場所だと秋田県の田沢湖にある浮木神社がその例である。▼日常では、縁が家族や友達、先生、地域の方々と結びついていることを実感できる。今回、多くの方々への取材をする中でも改めて実感することができた。しかし縁のつながりはそれだけでなく、自分が食べる物を育てる人、服を作る人、安全を守ってくれる人などとも結びついている。直接関わりがある人はもちろん、実際に関わりがない人とも縁があり、そのつながりはどこまでも広がっている。▼「原爆詩集」の序として書かれた時三吉詩碑の一文にこう書かれている。「わたしにつながるにんげんをかえせ」。今の日本は、戦争などの強い力によって理不尽に縁が奪われることが無い世の中になつた。それなのにSNS上では、顔も見せずに軽い気持ちで簡単に「死ね、消えろ」という言葉を投げつけ合っている。せっかくの「縁」をこうやって壊してしまつて、果たしていいのだろうか。▼各人がこの「縁」の大切さやありがたさを再確認すべきだ。そこそが、コロナ禍で混乱している現代を乗り切る鍵となるはずだ。(千)

国内初の新型コロナウイルス陽性患者が確認されたのが、2020年1月15日。それから実に1年8か月ほど経っているが、収束するどころか世界的な感染拡大は収まる気配もなく、日本では第五波のまっただ中である。「ウイルスの祭典」「コロナピック」と揶揄された東京五輪・パラリンピックは、緊急事態宣言下であるにもかかわらず、国民の総意を得られないまま開催され、結局「バブル方式」などの感染対策を徹底しきれぬままに終了した。

その後、因果関係は否定されているものの「デルタ株」が全国で猛威を振るい、さらに「ラムダ株」「ミュー株」などの新たな変異株も続々と確認される始末。

そこで、長引くコロナ禍で人々の意識や生活はどのように変化したのか、西高生を対象に探ってみた。

### 1 ワクチン接種について

「ワクチンこそがコロナ対策の切り札」(菅義偉・前内閣総理大臣)。政府肝煎りの政策として推し進められているワクチン接種。接種済みの証明書があれば入場を認めるというイベント会場なども出てきた。政府は今年の10月か11月には希望する国民全員の接種を完了させるという目標を掲げているが、「優先されている高齢者の多くはインターネットで予約できない」「若者は抽選で当選しなければ予約できない」「異物混入」「副反応」「先進国と途上国・後進国との接種率の格差」など様々な問題が噴出している。そのような現状において、西高生は

# コロナ禍 2年目……

### 2 自粛生活で流行した

全国一斉の休校こそないものの、夏休みの延長や分散登校、部活動の禁止などを余儀なくされている学校もある。多くの都道府県で「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令されている中、昨年度に引き続いて我々は行動の制限を強いられている。

そのような日々を少しでも楽しく過ごせるように、今までにはなかったものが流行した。特に女子高生の間で大人気になったのが「#おうちカフェ」。外へ出歩くことができないなら、家でやれば良いという発想



から生まれ、インスタグラムに投稿する人が続出。その名の通り、カフェで提供されるようなおしゃれなフードやドリンク、スイーツを用意し、家にいながらもまるでおしゃれなカフェにいるような気分を味わえる。本校にも「おうちカフェ」を楽しんでいる生徒は多い。今回はその一人、三浦青葉さん(3D)に話を聞いてみた。

ワクチンに対して、どのような意識を持っているのだろうか。アンケートを実施してみた。

**Q あなたはワクチンを接種しましたか?**  
 A すでに2回接種した ……2%  
 A すでに1回接種した ……2%  
 A これから接種する予定 ……56%  
 A 接種するか悩んでいる ……29%  
 A 接種しない ……11%

**Q 「接種するか悩んでいる」「接種しない」と回答した理由について当てはまるものを全てお選びください。**  
 A 副反応が心配 ……34%  
 A 安全性に疑問を感じる ……3%

様子を見てから考える ……17%  
 注射が嫌い ……16%  
 効果が疑問を感じる ……8%  
 急に作られた感じがする ……6%  
 ……5%  
 接種場所での感染リスクがある ……4%  
 接種会場に行くのが面倒 ……3%  
 予約手続きが面倒 ……3%  
 2回接種するのが面倒 ……2%  
 自分は感染しない ……2%  
 医者にワクチン接種を禁止されている ……0%  
 その他 ……2%  
 全体の6割は、「すでに接種している」「もしくはこれから接種する予定」であるが、4割は消極的であるということが分かった。その理由として、どの学年においても「副反応が心配」が最も多かった。例として、主なワクチンの一つ「モデルナ」では、腕が赤く腫れる「モデルナアーム」の副反応が報告されており、2回目の接種で約7%発症するとされている。続いて「ワクチンの安全性に疑問を感じる」「様子をみてから考える」「効果が疑問を感じる」「急に作られた感じがする」などワクチンの安全性や有効性に不安を感じている人が多い。

接種している」「もしくはこれから接種する予定」であるが、4割は消極的であるということが分かった。その理由として、どの学年においても「副反応が心配」が最も多かった。例として、主なワクチンの一つ「モデルナ」では、腕が赤く腫れる「モデルナアーム」の副反応が報告されており、2回目の接種で約7%発症するとされている。続いて「ワクチンの安全性に疑問を感じる」「様子をみてから考える」「効果が疑問を感じる」「急に作られた感じがする」などワクチンの安全性や有効性に不安を感じている人が多い。

人体への影響が分かっている自分、若い自分にはリスクが大きい」「持病があるから」と回答する生徒もいた。その反面、「面倒だ」という理由は少数派であることが分かった。このことから、政策としてワクチン接種を促進するのであれば、まずは安全性への不安を解消することこそが最優先事項であると思われる。また「自分は感染しない」という自信がある生徒もごく少数ながらいることが、今回の調査で判明した。個人の自由や権利が尊重される現代において、少なくとも「みんながワクチンを打ちさえすれば収束する」という単純すぎる社会問題ではなさそうだ。

**3 スポーツ大会**  
 例年、夏休み明けに行われる恒例の行事。他校では中止が相次ぐ中、本校でも一時、開催が危ぶまれた。しかし、約1週間延期して実施内容と感染対策を入念に見直した上で実施された。「競技中以外はマスクを必ず着用する」「試合会場に行けるのは選手と補欠のみ」「補欠選手がタブレットで試合を撮影し、その他の生徒は自分の教室でリモート観戦」「開会式と閉会式もリモート配信」「決勝のみ会場で応援可能」「競技時間の短縮化」など、かなり制約の多い異例尽くしの大会となったが、全校生徒一人ひとりが自覚をもって参加したため、無事に終えることができた。総合結果は以下のとおり。

総合成績

第1位	3D
第2位	1E
第3位	2E

ちなみに今年には下級生が3年生を次々と撃破する、波乱の展開が多かったのが非常に印象的だった。まさに無情の仁義なき下克上……。どうした、3年生?

はなく、互いに尊重し合っ てしっかりと議論すべきだ。 ・君子は義に喩り、小人は利に喩る。

(立派な人は何が大切かを考え、心の小さな人は何が得かを考える。)

自分だけが利益を得ても結局は幸せになれない。経済的に豊かな国々によるワクチン買い占めが横行しているが、それではいつまで経ってもこの地球上から新型コロナウイルスを撃退することはできないだろう。 ・先ず其の言を行ふ、而して後之に従ふ。

(人の上に立つ人は、まず自分が言ったことを自分でしっかりと守る。だから人々もそれに従って行動する。)

国民に自粛生活を要請しておきながら、自分たちだけ特別に宴会をしてはならないということか。



リモート閉会式の様子

**4 最後に**  
 「えたいの知れない不吉なウイルス」との未曾有の戦いの真つ最中である人類。先行きの見えない不安な世の中であるが、こんな時こそ混乱する激動の時代に生きた先人の教えが生きているのではないか。

そこで今回は、中国の戦国時代に「徳治主義」を唱え、道徳の力で乱世を変えようとした孔子の残した言葉をいくつか紹介したい。

・異端を攻むるは斯れ害あるのみ。

(異なる考えを持つ人を攻撃しても害があるだけだ。)

コロナ対策として、例えば分科会や医師会、経済界などがそれぞれの立場で違った意見を出し合っているが、異論があっても最初から聞く耳を持たないので

**青葉さん作 「クッキーシユ」**

**Q 始めたきっかけは?**  
 A 自粛期間中で時間ができたので、挑戦してみました。と思い、始めました。

**Q 周りの反応は?**  
 A みんな「美味しそう」などと言ってくれました。

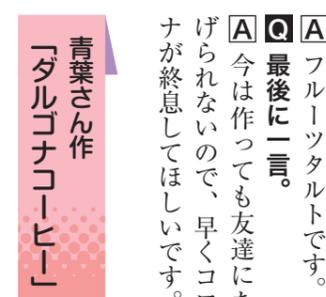
**Q 気をつけていることは?**  
 A 火の扱いと衛生面には特に気をつけています。

**Q 今後挑戦したいものは?**



**青葉さん作 「ダルゴナコーヒー」**

※韓国発祥のドリンクで、ミルクの上にふんわりしたコーヒーマウンテンがのっているカフェラテ。



右から黒澤さん、上田さん、加藤君

**新生徒会執行部 発足**

先日行われた生徒会役員選挙により、新たに会長と副会長が選出された。新体制の発足にあたり、意気込みを語ってもらった。

会長 上田涼佳(2A)  
 副会長 黒澤侑希(2A)  
 加藤 颯(2E)

**上田さん** 現在新型コロナウイルスの影響で例年通りの開催は難しいが、一つでも多く行事を成功できるように頑張りたい。

**黒澤さん** 自分からあいさつ運動や生徒への呼びかけを積極的にに行い、ルールやマナーを守れる高校にしていきたい。

**加藤君** 生徒が明るく楽しく学校生活を送れるように、全校生徒の意見を積極的に取り入れて行事の企画運営を頑張りたい。

また、三人とも「これまで先輩方が紡いできた歴史を受け継ぎつつ、進化し続ける秋田西高校を目指す」とのこと。これからの生徒会執行部の活躍に期待しよう。

# 「アドレセンス青春」像の謎に迫る!

西高の玄関前にある彫刻『アドレセンス青春』。登下校の際に必ず目にするプロンズ像であるが、そもそもこれは誰が作ったのだろう、どうして作られたのだろう、何を意味しているのだろうとみなさんは考えたことはあるだろうか。その謎を解き明かすために、我々取材班が作者である彫刻家・小柳力（こやなぎ つとむ）氏に直接インタビューのお願いを試みたところ、快諾していただいた。

## 小柳氏はこんな方

小柳力氏は大館市出身で全国的に活躍されている現役の彫刻家である。なんと御年80才！一見物静かな感じだがとても気さくで話しやすい情熱的な方だった。1992年に秋田県彫刻連盟会長に就任し、以後2010年までの18年間会長を務め続けた。2002年にはデンマーク・ホイヤーで開催された第10回「世界木彫シンポジウム」の20名選抜に選ばれて参加した。初めて賞を取ったのは1962年秋田総合美術展彫刻部門の特別賞で、以降五つの賞を獲得し、2012年には秋田県芸術文化章を受賞した。小柳氏の作品は秋田駅や天王



秋田駅構内にある小柳氏の作品



「アドレセンス青春」像の台座

グリーンランド、県内の学校など様々な場所で見られ、多くの賞を受賞している。実は、奥様の葵先生は昔、開校2年目の西高に赴任し、9年間務めていたという経歴がある。この葵先生とのつながりで、第8期生により西高に小柳氏の彫刻が寄贈された。今から32年前のことである。

## 「アドレセンス青春」像に込められた思い

この作品の形は、人が飛んでいる姿は「自由」を、手に持っている丸は「心」を表しているという。スポーツや学問でも何でもいから自分の本当の心を見つければ、それを遊ばせ自由に飛ばしてほしいという思いが込められている。ちなみに「アドレセンス青春」という題名は公募によって西高生が名付けたそうだ。この彫刻に込めた思いは、小

柳氏が芸術家として生きてきた中で経験したことからできた思いであった。

## 芸術観の変化のきっかけ

小柳氏は奥様と同様に、昔は教師を務めていた。ある美術の授業で世界の美術品を説明していたが、生徒たちはとても退屈そうに興味が無さそうだった。その生徒のうちの一人が小柳氏

生徒たちは目を輝かせて話を聞いていた。このことから、小柳氏は実際に感じて感ずることが大切だと考えるようになり、ヨーロッパなど30ヶ国をまわった。小柳氏は国を巡るにつれて様々なことを学んだ。レオナルド・ダ・ヴィンチの本当の実力やその凄さ、戦争に行ってしまうために泣きながら最後の作品を作る芸術

に、小柳氏は彫刻界における日本の現状を知っていた。世界中の彫刻家の中で日本はほとんど無名で東アジアにある国、酷いときは中国の一部だという認識だった。事実、日本での彫刻の始まりは明治時代からで、そのほとんどは「対象をそのまま形にした写しと変わらないものであり芸術ではない」と小柳氏は語る。なお、鎌

うことは、「日本にはこれぞ彫刻家と言えるような彫刻家が居ない」ということに繋がる。このことから、小柳氏は写しとしての作品ではなく、「日本でなければできない、日本らしい、日本の彫刻を作ろう」と決意した。

## 彫刻にこめる思い

小柳氏は作品を作るとき、「見えないもの」を見せようとすること。「作品の中に生まれる『空間』」を大切にしていると言った。「見えないもの」とは小柳氏が見たもの、感じたもの、感じた小柳氏自身の心のことである。「空間」とは、彫刻全体を見たときに空いたスペースや一見未完成で不完全に見えるような彫刻自体に空いた穴のことを指す。これらを意識しながら、小柳氏は自分が日々の生活の中で感動したものを、そのままの形ではなく別のものに置き換えて作品を作ると言う。



倉時代初期に大仏制作で活躍した運慶や快慶などの作品は彫刻に近いが、それは宗教に関わる神仏の写しとしての作品であるため、例外である。また、日本を代表する彫刻家は誰だと言われれば、小柳氏は話す。そんな夢を語る小柳氏は筆者に様々なことを教えてくれた。「夢を持って頑張ることができる」、「やりたいことをやろうとする心を大切に

に「先生はその美術品を実際に見たことがあるの？」と問いかけた。小柳氏は見たことがなかったが、生徒の中に実際に美術品を見たことがある子がいた。試しに小柳氏はその子に説明してもらった。すると、その生徒の話は解説というより「本人が見たもの、感じること」といった感想だったものの、退屈そうだった

家、国によって異なる美的価値観、作品は上手とは言えないが人とすぐに仲良くなつて和を作り出せる芸術家、ホテルのお客さんと友達になって学校で習わなくても様々な言語を習得した子どもなどたくさんの人やモノと関わったという。

## 日本の彫刻について

でもこの名前があるという

「100年後、2000年後に『日本を代表する彫刻家だ』と言われるように挑戦している。夢にかけている。」と小柳氏は話す。そんな夢を語る小柳氏は筆者に様々なことを教えてくれた。「夢を持って頑張ることができる」、「やりたいことをやろうとする心を大切に

## インタビューを終えて

筆者はインタビュー直前までとても緊張していた。対面したときの第一印象は、まさに「第一線で活躍する芸術家」といった感じだったが、話し始めると一瞬にして場が和やかな雰囲気となった。小柳氏は話題から脱線することが多かったが、そのたびに葵先生が注意するなど笑いが絶えなかった。さらに、記念として小柳氏の作品集を学校の図書館へ寄贈して頂いたため、ぜひ見ていただきたい。

インタビューの最後に「小柳氏にとって彫刻とは？」という質問をした。それに対し小柳氏は「生き証人」だとおっしゃった。その答えに、筆者は改めて小柳氏の彫刻にける強い情熱を見た。80才を越えて、制作意欲は衰えぬどころかますます盛ん。小柳氏の生き方こそまさに「アドレセンス」(青春期真っただ中)なのだと強く感じた。



右から小柳力氏、筆者、葵先生

# ら〜めん総選挙



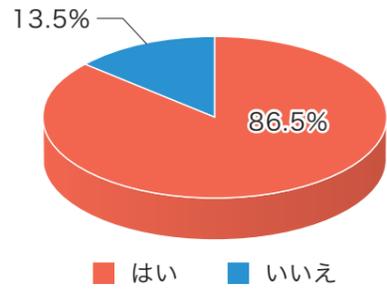
「今や押しも押されぬ国民食となったラーメン！日本全国数多の店がしのぎを削り、ひとつの丼の中に繰り広げるラーメンという芸術。」(「ラーメン Walker TV2」オープニングナレーションより)

コロナ禍で県外との往来を自粛せざるを得ない現在こそ、逆に県内の魅力を再発見する絶好の機会であるとも言える。

そこで、我々取材班は「国民食」とも言われるラーメンに焦点を当て、地元・秋田の食文化の素晴らしさを探るべく、全校生徒と先生方に協力していただき、「第1回？西高ら〜めん総選挙」を敢行した。

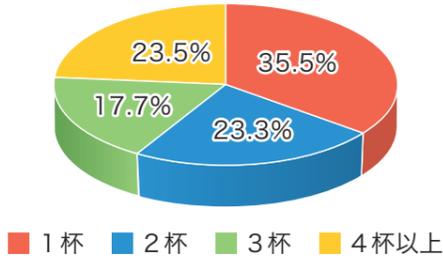
まず、ラーメンはそもそも本当に「国民食」なのか。西高生と先生方の回答結果は以下のとおりである。

**Q あなたはラーメンを好きですか？**



全校生徒・職員の実に9割近くがラーメン好きのようである。

**Q 月に何杯ほど食べますか？**

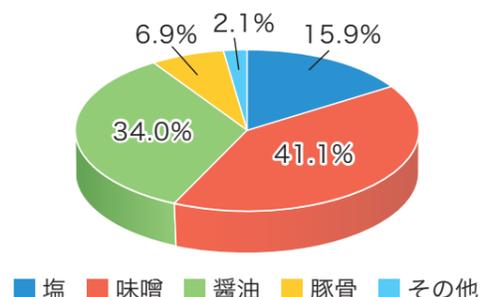


驚くべきことに約4人に1人が「月に4食以上」と回答した。週に1回以上は必ずラーメンを食べている計算になる。まさに「国民食」と言って差し支えないだろう。

**Q 好きなラーメンの味は何ですか？**

やはり定番の醤油味かと思いきや、西高では味噌味

が一番人気のおようである。



そしていよいよ、秋田県内でおすすめの店ランキングの集計結果を発表する。

**Q あなたが最も好きな秋田県内のラーメン屋を一軒教えてください。**

**第1位 幸楽苑 (48票)**

創業昭和29年。福島県会津を発祥とし全国に約500店舗を構える、言わずと知れた日本最大級のラーメンチェーン店である。お手頃な値段もさることながら、家庭的で優しい味のスープと多加水麺が幅広い年代層の心を掴んでいる。パレタインシーズンの「チョコレートら〜めん」など、季節感にあふれる限定麺も提供。

**第2位 麺屋 志乃助 (34票)**

国道285号線沿いにある井川町の人気店。赤味噌・白味噌・八丁味噌など数種類の味噌を豚骨スープと合わせた濃厚味噌ラーメンを看板とし、特に「赤乃助」「白乃助」が人気。しっかりとした中太縮れ麺との相性も良好。南秋地区の生徒票が多かったのではないだろうか。

**第3位 桜木屋 (17票)**

AKT秋田テレビ主催の「秋田ラーメン総選挙」で

2連覇を達成した、県北・大館市発祥の店。なんと秋田を代表する「ら〜めん錦グループ」代表の兄が店主である。秋田市仁井田にも進出し、開店と同時に行列ができる超人気店だ。「ニラそば」と「広東麺」が看板メニュー。濃厚な鶏スープのうまみが最も良く感じられるネギ塩拉麺の人気も根強い。

こちらが県北・北秋田市に総本店を持つ、秋田を代表するラーメンチェーン店。「秋田味噌」のおいしさを追求した味噌ラーメンを売り込んでいる。中央地区では男鹿店の他に、最近アルヴェ内にも出店したこともあり、食べたことがある生徒も多いはずだ。

**第5位 麺や二代目夜来香 (14票)**

仙台市にある同名の店で修行した店主が数年前に上飯島で開業し、追分三叉路近くに移動してきた、西高最寄りの店。丁寧なスープ作りへの評価は高く、いつでも大行列の人気店である。酸辣湯麺(スーラタンメン)と端麗系の中華そばを二枚看板としているほか、様々な限定麺にも挑戦している。夜営業(金曜のみ)では本格中華メニューを提供しており、これも好評。

また、先生方にもおすすめの店を回答していただいたが、出張などで県内各地を食べ歩いていらつしやるからか、様々な店名が挙げられた。当初はランキング形式にする予定だったが、取捨がつかなくなってしまうため、一覧にして紹介する。とは言うものの、

遠方でマニアックな店もあるため、先生方のご協力をいただきながら、取材班が調査・確認できた範囲で解説したい。

まずは端麗系から。阿部校長先生の「柳麺多むら」は、カップラーメンにもなっている東京・新大塚「創作麺工房 鳴龍」の立ち上げにも参加している若き店主が、地元能代で開業した名店。その特色はなんと「鶏を丁寧に処理して仕上げた出汁と、厳選された醤油や湯沢の石孫商店の味噌を合わせた絶妙なスープ。少し細めの自家製麺は小麦が香り、まさに至福の一杯である。同じく能代市にある「麺工房やびな」もまた澄んだスープに特徴があり、プチ切れくん(後述)はここにオリジナル缶バッチを置いていた。最近八橋にできた「ラーメン シロクロ」は、様々な出汁がブレンドされた複雑な味わいを醸し出している。朝営業のみ食べられる煮干しが絶品という噂も。ぜひお試しあれ。

お次は秋田ラーメンの「ジャンル」とも言える「江戸系」を解説しよう。「大江戸」「仲江戸」「小江戸」があり、さっぱりとした醤油ラーメンに辛味噌が乗り、卓上の酢や醤油ダレを追加することでまろやかにカスタマイズすることができ、好みは分かれると思うが、一度ハマればそれしか食べられないと言う人もいられるほど中毒性がある。

「たかしょう」と「ら〜めん秋田 ひない軒」は、ともに濃厚な鶏出汁とトッピングの親鳥の固い肉、通称「しねえ肉」に特色がある。「たかしょう」にはその「しねえ肉」がドッカーリ盛り込まれた「肉皿」というメニューもあり、これが白飯に合う。江島先生の胃袋を掴んだのも頷ける一品である。「ら〜めん秋田 ひない軒」のスープはだまこ鍋のスープを理想として作られたこともあり、野菜の甘みやうまみが存分に引き出されている。卓上の辛味噌を追加するとまた違った顔を見せてくれる。

家系ラーメンの「佐々木」とあつさり支那そばが売りの「まると」は系列店である。近年家系の進出が著しい秋田市だが、秋田県民の味覚に合わせた佐々木家は根強いファンを持つ。西高にも近い「まると」は訪れたことのある人も多いため、どのメニューも一定のクオリティを保っているが、「百回試行錯誤して作り上げた味」という「百式煮干し」は一食の価値がある。

「博多ラーメンぞんたく割山店」は、秋田には珍しい豚骨の店である。白・赤の2種類のベースに、ネギ・のりなどをたっぷりトッピングするのが通の食べ方である。辛子高菜の入れすぎには注意、そして半日は全身に纏わり付く豚骨の香りにも注意。秋田・岩手に展開する「Ajii」もベースは豚骨なので、初心者はこちらからチャレンジしてみたいかだろうか。一番人気は醤油豚骨味のスープに激辛のネギがたっぷり乗った「南蛮ラーメン」。汗をかきながら食べすすめるうちに、

いつのまにか虜になっていくかもしれない。

「元祖十文字中華そばマルタマ」は、数少ない秋田県ご当地ラーメン、「十文字ラーメン」の老舗である。その特色はなんと「井の底が見えそうなほどの澄み切ったスープ。あつさりしているだけでなく、深いコクを併せ持ったこの店こそが十文字ラーメンの最高峰と語る人は少なくない。アンケート結果には出てこなかったが、秋田市でも市民市場内の「支那そば伊藤」でハイレベルな十文字ラーメンを食べられる。伊藤と言えどもはや伝説となつているのが、角館にある「自家製麺伊藤」。「中華そば」の具はネギのみ、スープは麺の半分ほどという不安になるビジュアルながら、一度麺をすするとその官能的とも言える食感と味に魅了され、井を離すことができない。店主の弟や甥が東京で同名の店を出しており、ミシユランのピブルマンにも選ばれていることからレベルの高さが窺い知れるだろう。

## 先生方へのアンケート結果

(五十音順)

- ・ Ajii-Q外旭川店 石井 志徳先生
- ・ 味美藤田屋 (横手・湯沢) 高橋奈奈子先生
- ・ 大江戸 伊藤 文人先生
- ・ 元祖十文字中華そばマルタマ (横手市) 岩川 博美先生
- ・ 幸楽苑 渡部 亮太先生
- ・ 小江戸 杉山 喜幸先生
- ・ 吾作ラーメン 河村 純子先生
- ・ 桜木屋 藤田 博樹教頭
- ・ 佐々木家 工藤 裕文先生
- ・ 自家製麺伊藤 (仙北市角館) 田山 洋子先生
- ・ 十八番 (能代市) 山内 理子先生
- ・ たかしょう (由利本荘市) 瀬尾 達也先生
- ・ チャイナタウン 亀田 拓朗先生
- ・ ばいたん倶楽部 三浦 益子先生
- ・ 博多ラーメンぞんたく割山店 江島 尚先生
- ・ まると 伊藤 洋徳先生
- ・ 麺工房やびな (能代市) 伊藤 悠香先生
- ・ めん峯 伊藤 真司先生
- ・ 麺や二代目夜来香 伊藤 直美先生
- ・ ら〜めん秋田ひない軒 長岐 孝一先生
- ・ ラーメン シロクロ 加賀谷 健先生
- ・ 柳麺多むら 伊藤 真子先生
- ・ 糸井 大輔先生
- ・ 熊谷早智子先生
- ・ 佐藤 央先生
- ・ 阿部 聡校長

# 西高

## 第1回?



美 藤田屋」が選出された。自慢の味噌ラーメンは5種類の味噌を独自でブレンドし、黒豚や丸鶏の動物系スープと合わせている。大豆芽油の油膜を張ることでスープが冷めないように工夫している。「玉測井」と呼ばれる、ずんぐりしたどんぶり大ボリュウムの麺。群馬県産黒豚チャーシューと優しい甘さのコーンの取り合わせがこれまた絶妙。

味噌と言え、知る人ぞ知る人気店が「めん峯」。住宅街の中にひっそりと位置しているが、昼時になるとたくさんのお客で溢れかえる。たっぷりの野菜の甘みが溶け出した味噌中華は、スープをしつかりとまよわせる細切れ麺と実によく合う。

最後に秋田のラーメンを語る上で外せない3店を紹介したい。「チャイナタウン」「十八番」そして「吾作ラーメン」である。

「チャイナタウン」は秋田ちゃんぽんの店である。「ちゃんぽん」というと魚介・豚肉・野菜などを炒め、豚骨スープに合わせた長崎ちゃんぽんが一般的だが、秋田ちゃんぽんはいわゆる「あんかけラーメン」である。これこそ秋田のソウルフードであると評価する人も多い。県内では複数の店舗で提供されているが、この店は日本テレビ系列「秘密のケンミンshow」で取り上げられたことで一気に有名になった。看板メニューの「みそちゃんぽん」発祥の店としても知られ、にんにくを効かせた味噌スープに、本格的な中華の技法で作りに上げられたアツアツのあんがかぶせられており、その香ばしいスープを太ストリート麺でいただく。心も胃袋も熱く満たされる一杯である。ちなみに「ばいたん倶楽部」も秋田ちゃんぽんで有名。

「十八番」は月・火・木の昼営業のみ、看板も小さい。さらに自ら名乗ってカウンターで注文し、取りに行くのも返却もテーブルを拭くのも全てセルフという、いわゆるホスピタリティとはかけ離れた営業スタイルながら、昼時になると長蛇の列ができることがそのうまさや雄弁に物語っていると言えよう。スープのうまみを際立たせているのはナッツ類とレモンであり、一度に2種類の味を注文して楽しんでる人もよく見かける。

最後はCMでもおなじみの「吾作ラーメン」。能代を発祥とし、近年県央・県南への進出が著しい。もとは札幌ラーメン店だったこともあり、よくスープと絡むプリプリの中太縮れ麺の感触が心地よい。味噌はざらりとした食感が舌に残り、決して丁寧な処理されている印象は受けないものの、その乱暴とすら言える旨味が癖になる一品である。お盆や正月には帰省客らしき人々が店内が埋め尽くされており、まさに「ふるさと」の味として愛されていることがよく分かる。

以上の3店は、みな30年以上の歴史を持つ。新店舗が生まれては消えゆく現代社会において希有な存在である。なぜ人気を保ち続けられるのだろうか。

答えは東京・荻窪の名店「春木屋」店主の言にあると思う。「変わらない味と言われるために変わり続ける」それが愛され続ける秘訣なのだという。そう言え、十八番」のチャーシューはほのかに燻製の薫りがし、現代らしさを加えていた。一つの形で成功したからといってその地位に安住せず、常に高みを指すことの大切さを改めて教えられたような気がした。



カップラーメン&杉山先生

秋田市泉にある「小江戸」の醤油特産硬め辛味多め、30年以上通っている店主とも仲がいい。

今までもとても多くのラーメン屋に行ってきた。ラーメンのためなら遠出もする。県外であれば山形県の「龍上海」という店の辛味噌がおすすめ。

若い頃は高校生のようにならざるを得ない。ラーメンを好んでいたが、歳を重ねるにつれて薄味が好きになってきた。今ではシンプルな醤油味に魅力を感じる。

杉山先生にとってラーメンとは？

漢(おとこ)のロマン、出会いと別れ。長年通っていた店が閉店してしまったり、初めての店で新しい味に出会ったりするのがラーメンの面白いところ。もう何年も前に閉店してしまったり、「陶潜亭」という店の味が忘れられない。幻の味。

あったらいいなと思うラーメン屋は？

深夜まで営業しているところとありがたい。締めめのラーメンが好き。

お忙しい中、取材にご協力いただき、ありがとうございました！

「西高の麺スタグラマー」櫻庭生也君(3B)に聞く

ラーメンの魅力とはなんですか？



ラーメンを熱く語る生也君(右)

スープ、麺、具材の三つの要素で楽しむことができる。スープには出汁や味、麺には太さや硬さ、具材も店によってたくさん種類がある。これらの組み合わせは無限大で一生飽きることがないのが魅力。いろんな味が食べたくなくて、好奇心を掻き立てられる。

麺スタグラマーについて教えてください。

もともとはラーメンメニューバーの「SUSURU TV」さんの動画の影響で、自分のインスタグラムのアカウントにその日食べたラーメンを投稿してみたのがきっかけ。そこでラーメンだけを投稿する麺スタグラムをやってみたら面白いんじゃないかと思いついた。今までに40店以上行っていて投稿したラーメンの数は現在で76杯。投稿を見てくれた人に感動が伝わってくれたらうれしい。

そんな生也君おすすめのお店はどこですか？

「麺屋にほすけ」です。

西高生へメッセージを！

今まで行ったことのない店に行ってみたり、新しいメニューに挑戦してみたり、自分の好奇心に素直になつて新しいことにどんどんチャレンジすることが大事だと思います。



### ラーメンユーチューバー 突撃インタビュー!!

「ど〜も、プチ切れです！今日はラーメン食べに行きます」

秋田を代表するラーメンユーチューバーと言え、この人「プチ切れくん」！秋田県内のラーメンをくまなく食べ歩き、週に2〜3回ほど動画をアップしている「秋田のラーメン博士」。

今回、突撃インタビューをお願いしたところ、快く応じていただいた。

週に何食ほどラーメンを食べますか？

毎日食べますので週7食ですね。お店で食べるラーメンは1日1食までと制限していますが、その他でも自分自身ラーメン作りが好きなのでそれも含めると1日1食以上になりますね。

ラーメンユーチューバーをやるうと思っただけですか？

ラーメンを食べ歩きとユーチューブを見るのが趣味だったので、「秋田にもラーメンユーチューバーがいたらいいのにな」と思って、試しに自分でやってみるのがきっかけです！(笑)

秋田のラーメンの特徴を教えてください。

秋田県内にも複数の



YouTubeチャンネル「プチ切れくん」のワンシーン

地域特有のご当地ラーメンやソウルフード、秋田ちゃんぽんなど色々ありますが、それぞれで特徴は違うので、「秋田のラーメンはこう」という定義はありません。ですが個人的に思うのは、秋田のラーメン屋さんの多くは「地元の食材を使用すること」にこだわりのある方が多い」ということです！それは「地元愛」だったり、「秋田の生産物のクオリティの高さ」だったり、「安心安全な食材を提供したいと思うホスピタリティがある県民性」だからだと思います。

おいしいラーメン店の特徴・共通点というのはありますか？

うまいはずは人によって違うし、全てのお店がそうとは限りませんが、美味しいラーメン屋さんには強いこだわりのある方が多いですね。居心地、スピード、コスパ、無化調(注・化学調味料を使わないこと)、人柄、卓上の調味料や無料トッピングなど、ラーメンの味以外のところにもサービスが行き届いてるお店が多いと思います！

プチ切れくんにとってラーメンとは何ですか？

自分の大切な子どもの代わりが他にいないのと同じように、ラーメンを他に言い換えることはできません！私にとって「ラーメンとはラーメン」です。(笑)

秋田西高校の生徒に おすすめのお店を教えてください。

「麺や二代目夜来香」です！秋田西高校と近いからという理由だけではなく、まさに先ほど話した「美味しいラーメン屋さんの特徴」を感じられるお店だと思います！身近なほど当たり前に感じちゃいますが、「麺や二代目夜来香」は私が自信を持ってオススメできる、数少ないお店です。

お忙しい中、取材にご協力いただき、ありがとうございました！

# インターハイ出場選手にインタビュー

今夏、2年ぶりに開催されたインターハイ「輝け君の汗と涙 北信越総体」本校からは、陸上競技・男子走高跳で永井隆斗君(3A)、ソフトテニス競技・女子個人戦で小嶋那奈さん(3D)と相馬未藍さん(2C)のペアの計3人が激戦を勝ち抜いて出場した。大会後はPCR検査や自宅待機で大変だったにもかかわらず、快くインタビューに協力していただいた。



埼玉・昌平高校との一戦 (右:相馬さん、左:小嶋さん)

**相馬さん** 怪我をしてしまったこと、自分の苦手なプレーを克服することができなかったことです。

**Q** 辛かったことをどのようないい思い出で乗り越えたのですか？

**永井君** 実戦練習をするのができない時は、イメージトレーニングを大切にしました。

**小嶋さん** 来年は絶対に自分たちがインターハイに行つて、先輩の分まで全力で戦うという思いで一生涯命頑張りました。

**相馬さん** 日々の練習を継続することで、きっとできるようになると信じてやり続けました。

**Q** インターハイ出場が決まった時、どんな気持ちでしたか？

**永井君** 出場を決めた東北大会では圧倒して勝つことができました、安心してました。

**小嶋さん** まず安心してました。ベスト8決めもベスト4決めもどちらも苦しい試合で、ずっと震えながらプレーしていたので喜びよりも安心しました。

**相馬さん** とにかく、嬉しいという気持ちが強かったです。今までは、東北大会までしか行つたことがなかったの、「絶対インターハイに行こう」と小嶋先輩と話していました。インターハイ出場が決まった瞬間、「まだ先輩と一緒にプレーすることができるといい、本当に嬉しかったんです。」

**Q** インターハイの雰囲気はどのように感じましたか？

**永井君** 最後の大会という



跳躍する永井君

こともあり、とても緊張感がありました。また、レベルが高いと感じました。

**小嶋さん** 重い空気が流れていて、ピリついた雰囲気でした。会場にいた選手は皆、この舞台に立つことはもちろん、「一つでも多く勝ち、優勝するという目標を持って全力で練習してきたのだから」と一瞬で感じ取れました。

**相馬さん** 今まで経験してきた全国大会の中で、一番張り詰めた雰囲気がありました。インターハイに出るような選手は「一つ一つのプレーに対する思いが熱い!!」と感じました。

**Q** インターハイに出場して最も思い出に残っていることはなんですか？

**永井君** 予選で2m01を跳べたことです。

**小嶋さん** 全国トップレベルの試合を生で見て、肌で感じ取れたこと、約1年間一緒に戦ってきた相馬さんと最後に大舞台で楽しくプレーできたことです。

**相馬さん** インターハイの決勝を観戦できたことがとても印象に残っています。

# 先生インタビュー

Vol. 18

今年定年退職なさる藤原先生。いかにも「ベテラン教師」の風格が漂い、各種儀式では運営の中心となる、西高には欠かせない存在。そんな藤原先生に、西高新聞名物「先生インタビュー」にご登場いただいた。

**Q** 退職を間近に控えて、現在の心境はいかがですか？

**A** 授業で取り上げた「山月記」の中で、主人公李徴が言った「人生は何事もなごめにはあまりにも長い、何事かをなすにはあまりに短い」という言葉の意味がよくよく分かる境地になりました。

**Q** 教員生活の中で最も印象に残っている、感動の出来事は？

**A** 前任校の由利高校で初代の野球部長を務め、春の中央地区大会で秋田

**Q** 最後に全校生徒の皆さんへ一言お願いします。

**永井君** 試合の中止が多いと思いますが、実施された時に実力を十分に出せるように頑張ってください。

**小嶋さん** 努力して報われないこともあるけれど、成功している人に努力をしていない人はいないと思います。結果も大事ですが、そこに行き着くまでの過程が何よりも大事だと思います。

**相馬さん** 皆さん、応援していただき、本当にありがとうございました。ごさいます。

西高校を破り、優勝できたことですね。西高に来てからだと、赴任して3年目に吹奏楽部が大編成の部に出場し、創部史上初の秋田県大会金賞を受賞したことが印象深いです。

**Q** 教員になることを目指したきっかけや理由を教えてください。

**A** 吹奏楽部の顧問をやりたいと教員を目指しました。たくて教員を目指しました。

**Q** 先生ご自身は吹奏楽の経験はおありですか？

**A** 中学・高校では吹奏楽。大学はオーケストラに所属していました。主にトロンボーンという楽器を演奏してきました。吹奏楽やオーケストラの魅力は、複数のそれぞれ違う性格の人間や楽器が一つの合奏体となって演奏するのが醍醐味であることだと思います。

みなさんは吹奏楽部というトロンボーンを浴びて演奏する姿が思い浮かぶかもしれ

**Q** 先生はどのような高校時代と大学時代をお過ごしになりましたか？また、国語教師である先生が研究していたことや卒業論文について教えてください。

**A** 高校時代は、大学入試の勉強もせずに部活動に明け暮れていました。大学時代は、中国語や中国文学について、「漢詩の風景」で有名な石川忠久先生をはじめ、当時のNHK第二ラジオ中国語講座の講師を務める教授陣に学び、貧しいながらも充実した大学生活を送りました。

**Q** 先生はどのような高校時代と大学時代をお過ごしになりましたか？また、国語教師である先生が研究していたことや卒業論文について教えてください。

**A** 高校時代は、大学入試の勉強もせずに部活動に明け暮れていました。大学時代は、中国語や中国文学について、「漢詩の風景」で有名な石川忠久先生をはじめ、当時のNHK第二ラジオ中国語講座の講師を務める教授陣に学び、貧しいながらも充実した大学生活を送りました。



今年度の吹奏楽部定期演奏会で指揮を執る藤原先生

ません。しかし、練習は地味で、演奏会当日は「楽器運搬に始まり、楽器運搬に終わる」という体育系文化部です。

**Q** 先生はどのような高校時代と大学時代をお過ごしになりましたか？また、国語教師である先生が研究していたことや卒業論文について教えてください。

**A** 高校時代は、大学入試の勉強もせずに部活動に明け暮れていました。大学時代は、中国語や中国文学について、「漢詩の風景」で有名な石川忠久先生をはじめ、当時のNHK第二ラジオ中国語講座の講師を務める教授陣に学び、貧しいながらも充実した大学生活を送りました。

**Q** 先生はどのような高校時代と大学時代をお過ごしになりましたか？また、国語教師である先生が研究していたことや卒業論文について教えてください。

**A** 高校時代は、大学入試の勉強もせずに部活動に明け暮れていました。大学時代は、中国語や中国文学について、「漢詩の風景」で有名な石川忠久先生をはじめ、当時のNHK第二ラジオ中国語講座の講師を務める教授陣に学び、貧しいながらも充実した大学生活を送りました。

**Q** 先生はどのような高校時代と大学時代をお過ごしになりましたか？また、国語教師である先生が研究していたことや卒業論文について教えてください。

**A** 高校時代は、大学入試の勉強もせずに部活動に明け暮れていました。大学時代は、中国語や中国文学について、「漢詩の風景」で有名な石川忠久先生をはじめ、当時のNHK第二ラジオ中国語講座の講師を務める教授陣に学び、貧しいながらも充実した大学生活を送りました。

**A** 高校時代は、大学入試の勉強もせずに部活動に明け暮れていました。大学時代は、中国語や中国文学について、「漢詩の風景」で有名な石川忠久先生をはじめ、当時のNHK第二ラジオ中国語講座の講師を務める教授陣に学び、貧しいながらも充実した大学生活を送りました。

送りました。卒業論文は、「夏目漱石と魯迅の比較文学論」をまとめました。熱狂的な夏目漱石ファンであった魯迅が、中国近代化の中で文学とどう向き合ったかを論じました。

**Q** 退職後は、どのようにしてお過ごしになる予定ですか？

**A** 今までもおろそかにしていた家事に励み、好きな音楽を聴きながら心豊かに過ごしたいと思っています。

**Q** 好きなものは何ですか？

**A** 一部の生徒には知られていますが、甘い物が大好きです。特に「白くま君アイス」。夏の風呂上がりの一本は格別です。あとは音楽鑑賞ですね。ジャンルは問いませんが、特にクラシック音楽が好きです。

**Q** 最後に、西高生に向けてメッセージをお願いします。

**A** 魯迅の言葉を二つ贈りたいと思います。「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」

「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」

「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」

「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」

「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」

「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」

「希望本无所谓有、也无所谓无、这就像地上的路、其实地上本没有路，走的人多了，也就成了路。」



## ウエスト桜

二〇〇三年に連載が開始され、一世を風靡した受験漫画『ドラゴン桜』。二〇一八年からは続編の『ドラゴン

桜2』が始まり、ドラマ化もされて大好評であった。一見破天荒で無茶苦茶に見える教育法・受験勉強法ばかりであるが、最後には見事に東京大学合格を果たしてしまおうというサクセスストーリーが、世の人々の心を掴んだのかもしれない。そこで今回、我々取材班は、「勉強を教えるプロ」である西高の先生方に、ご自身が学生時代に実践して効果のあった勉強法を教えてください。その中から特に『ドラゴン桜』並みにユニークだったものをご紹介します。

- ・暗記をするときに『私はマシーンだ』と思い込みながらやる。(直美先生)
- ・先生のことを好きになる。※好きな人の言うことは記憶に残るから。(河村先生)
- ・助動詞の活用表を歌って踊りながら覚える。(藤原先生)
- ・後ろ歩きをしながら暗記したことをつづやく。(江島先生)
- ・語呂合わせや替え歌を作って覚える。(藤田教頭)
- ・見えている風景や人物を頭の中で英語を用いて描写する。
- ・数学の参考書を1日3ページ、次の日は前の日にやった2ページと新しく1ページを進む。(瀬尾先生)
- ・寝起きと同時に時間を計測し、60分間センター試験数学の過去問題を解く。(亀田先生)
- ・皆さんも試してみたい(???)と思えるものがあるば、ぜひ取り入れてみたらいかがだろうか。